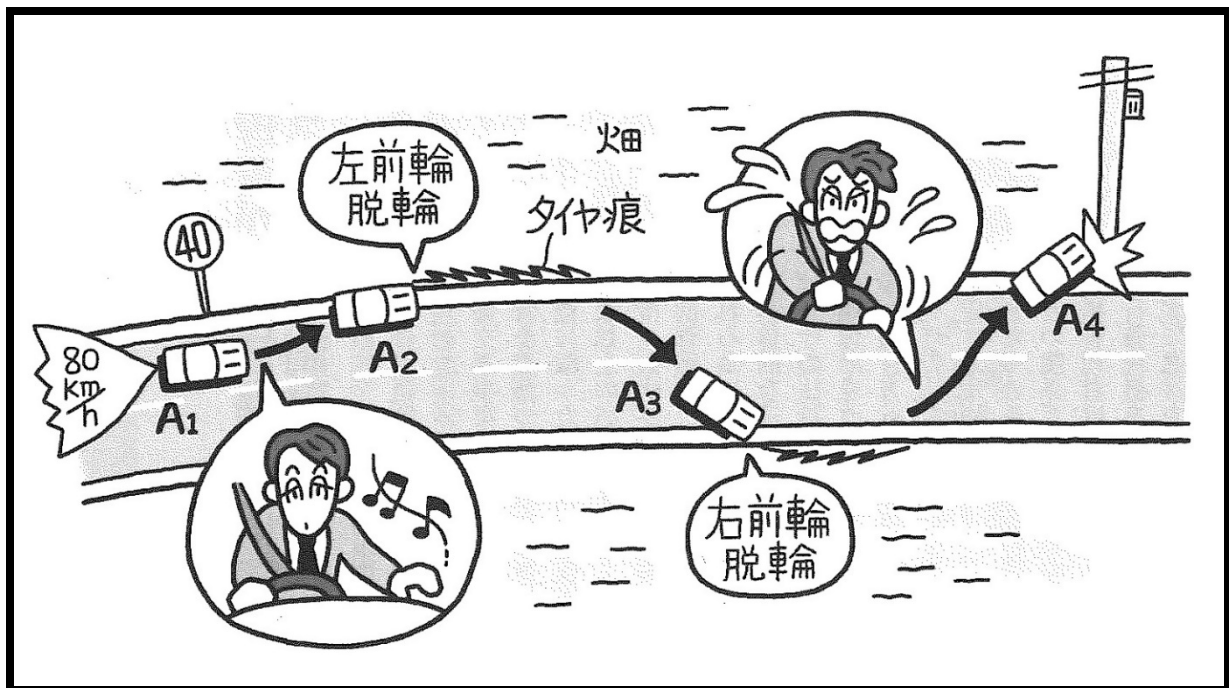


■事故の概況



事故類型：車両単独

発生日時：月曜日 午後10時頃 曇り

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは毎日通勤のため通行する畑の中の片側1車線の道路を時速80kmで走行していました。ゆるい右カーブに差ししかかったときカーステレオを操作しようと左手を伸ばしたとき身体が少し左に傾き、右手だけでハンドル操作していたが身体の動きに影響されて、車が左方向に流れ、左前輪が道路左の路肩に脱輪しました。もとに戻そうとあわててハンドルを右に切りましたが、今度は切り過ぎて右前輪が道路右の路肩に脱輪しました。パニック状態となりながら車をもとに戻そうと再度ハンドルを左に切ったもののコントロールできず、道路左側の路外に逸脱し、道路脇の電柱に激突しました。

■ 事故から学ぶ

Aは前日の日曜日に遊びに出かけ、徹夜をしたため、事故の発生時間まで約40時間も睡眠をとっていませんでした。いくらAが若いといっても睡眠不足から注意力が散漫になっていたことは否めません。路外に逸脱して、速度超過も重なりコントロール不能状態のまま電柱に激突という事故につながりました。

この事例は運転者1人が自分の運転ミスで事故を起こしたいわゆる「自爆事故」ですが、この現場に歩行者や自転車がいたらその人たちを巻きこんで多くの被害者を出していたかもしれません。睡眠不足や極度の疲労など安全な走行ができなくなるような生活をしないことも運転者の責任のひとつです。